

地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業) : 広島県大竹市

概 要

大竹市では、高齢化等に対応した市民の移動手段を確保するため、現状分析や市民ニーズを把握したうえで、既存の廃止代替バス路線の再編も含めた、新たな公共交通の導入について調査・検討を行う。

○地域公共交通の概要

- 廃止代替バス運営補助(大竹栗谷線、坂上線)
- 乗合タクシー補助(広原地区・谷和地区)
- スクールバス運行(栗谷便・川手便・松ヶ原便)
- 阿多田～小方航路

○地域公共交通の課題

生活維持路線の性格が強く便数も少ないため、マイカーやタクシーを除くと市内を移動する公共交通が整備されていない。また、代替バス・離島航路ともに、利用者減により市の補助額も増加傾向にある。

○調査事業の主な内容

- ・アンケート
- ・地域ワークショップ
- ・新たな公共交通体系の検討

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

沿岸部に「幹線」を整備し、JR駅、店舗・医療機関、公共施設などを結んで運行する。既存バス路線が運行されている地域については、サービス維持を前提に、運行方法や車両などを再検討する。

交通空白地帯となる地域については、地域の協力・連携を条件にフィーダー交通の導入を目指す。

